



森のなかま

2023年 5月号

NO. 179 (継続324号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 佐藤 恭平
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

令和4年度成長の森 植樹会活動報告

日時：2023年3月11日(土) 7:50~16:00

場所：県立21世紀の森

水源環境保全課水源の森林推進G：武田様・黒田様・村松様

かながわトラストみどり財団：豊丸様・倉野様・古舘様・藤本様・南橋様

県立21世紀の森スタッフ：加藤様・野村様

インストラクター 総括L上宮田⑪・山崎⑦・杉崎⑩・大原⑬・宇田川⑬・鈴木⑭・黒川⑭

大友⑯・堀口⑯・内田⑰・鈴木⑰・杉山⑰・高谷⑰・池尻⑰・三浦⑰

《植樹会場》 記：13期 宇田川 祐美恵 (写真・上宮田⑪・宇田川⑬)

良く晴れ絶好の植樹日和！今年も県立21世紀の森にて成長の森植樹会が開催されました。令和4年度の会場は新設3年目となる見晴らしの良い頂上付近のエリアです。

参加者は61家族218名(中学生以上の大人143名、子供75名)、神奈川県が誇る無花粉スギ289本・無花粉ヒノキ(愛称：丹沢 森のミライ)80本の合計369本を植樹しました。今年の特徴としては、入場前にデモンストレーションを受けていただき、植樹の流れやコツ、安全面の注意点をご案内することでスムーズな運営を実現することが出来ました。デモは仲間内のインストラクターから見ても秀逸で、関係者よりお褒めのお言葉をいただくほどでした。



参加者はファミリーが多く、それぞれが思いを込めて一生懸命に、何より楽しんで植樹いただき、時間を忘れて没頭される方もおられました。特に印象的だったことは、「成長の森」というこの場所で、初めて植樹体験される小さなお子様が一本植える毎に上達され、短時間でその「成長」を目の当たりにしたことです。お子様の成長と森の生長、未来を担う有意義なお手伝が出来、和やかな春の一日を終えることが出来ました



「丸太切り会場」 記：17期 杉山 宇史（写真・杉崎⑩）

丸太切りは、植樹を終えた参加者が体験する流れでしたので、11 時頃までのんびりと準備をすることができ、インストラクター同士の交流の時間となりました。

準備では、太い丸太を二人両手挽き鋸、細い丸太を丸太挽き鋸で挽けるよう馬に設置しました。設置間隔は 2 か所同時の体験で参加者同士が近接しないよう間隔を広げたり、地面に敷いているブルーシートに足を取られないよう、シートの向きを変えたりと体験中に修正を加えながら安定した環境を整えていきました。

植樹を終えた参加者はバスに乗って団体で戻ってくるため、丸太切り体験は順番待ちができるほどの盛況です。太い丸太は杉、細いのは桧で桧のほうが固いので格闘していました。お姉ちゃんが必死になって丸太と格闘している姿をキラキラした目で見つめていた小さな妹、ご家族の判断で「妹にはまだ無理」だと思い帰ろうとした途端、私もやりたいと泣き出してしまい、最後はお父さんと一緒に丸太を切ってキラキラした目で帰っていきました。



子供の好奇心、可能性を大人が決めつけてはいけないと改めて思いました。両手引き鋸では友人と参加していた女子大生二人、キャーキャーと最後までやり切り切断。親子で、じいじと孫で、兄弟で、それぞれの家族模様を垣間見せながらの共同作業でした。木の硬さや、鋸が上手く切れているときの感覚、木屑が出てきて木が切れていく感じ。楽しい、気持ちいい。疲れた。素直な感想を口にしていくのが印象的でした。

合間に鋸の使い方の説明や丸太の年輪を使って木の育ち方を解説したり、安全への配慮と参加者のカメラの気遣いもしつつ、けがもなく無事に終わることができました。

ただ木を切るだけの行為に、体験者皆さんが真剣で、とっても新鮮な体験でした。

丸太切り体験は立派なアクティビティでした。



かながわしずくちゃん Twitter は下記URLで見ることができます。

かながわの水環境の
保全・再生をめざして

https://twitter.com/kanagawa_sizuku



緑の募金
シンボルマーク



緑の募金キャラクター
どんぐりくん・どんぐりちゃん

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取り組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき事業部会 2023年度
「やどりき水源林 森の案内人研修」

場所: やどりき水源林 日時: 2023年3/12(日), 4/2(日) 10時~14時30分

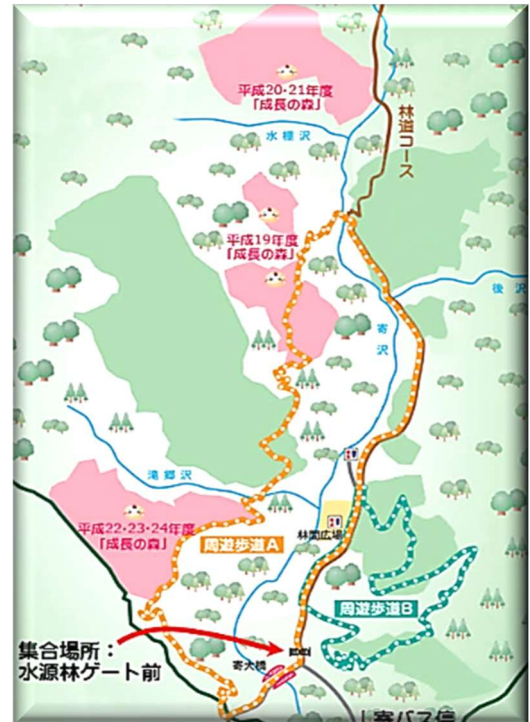
< 記 國弘明子⑭ 写真 水口俊則⑨ >

《やどりき水源林 森の案内人》

やどりき水源林では毎週土曜、日曜日の10時と13時から森林インストラクターが「森の案内人」となり林内のご案内をしています(12月~2月は休止)。良好な水源林を維持するために保全された森林の姿、動植物が息づく自然を堪能していただけるように3つのルートが整備されています。平成19~23年度にお子様の健やかな成長を願って苗を植樹された「成長の森」へのご案内もしています。季節により癒し体験や丸太切りクラフト、水生生物の観察などのプログラムも用意しています。

《森の案内人研修》

かながわ森林インストラクターの会では毎年「森の案内人」となるための研修を実施しています。今年も3月12日、4月2日で実施し、54人全員が受講しました。訪問された方々の安全が第一ですので、まず体調確認、散策や体験活動中の事故防止について丁寧な説明がありました。さらに、案内の手順、成長の森の案内、プログラム、またインストラクターのスキルアップのために行なわれる植物調査班、動物調査班、土壌・水生生物調査班、周辺地域調査班の今年度の活動予定について話がありました。



広場で研修開始 順番に担当者が説明



Bコースの整備・安全性確認

その後、散策コースの林道コースとBコースに別れて落枝処理などの整備をしながら安全確認を行ないました。来年度から12人の新人インストラクターが案内人に加わりますので、こちらは水源林内の施設を見て回り、管理棟にてあらためて森の案内の一連の手順の説明を受けました。最後に有志で平成22、23、24年度成長の森へのルートについても整備を兼ねた下見を行ないました。



成長の森の分かれ道の目印付け



ミツマタの観察ポイント確認



早春に咲くユリワサビ

若葉が美しい春、生き物が躍動する夏、輝く紅葉 身近な自然、やどりき水源林にお越しください。
 森の案内人一同 準備万端でお待ちしております。

《やどりき事業部特別企画》2022 年度第 3 回『やどりきの森へ行こう！』
【水源林のミツマタ群生鑑賞：早春に咲くミツマタ観察で春を感じよう】

日時：2023 年 3 月 11 日 9:30-14:30 快晴

参加者：33 名

インストラクター：L 水口⑨、SL 古舘⑬、波多野⑨、吉田⑨、國弘⑭、河西⑮、飛田⑮、石垣⑮、久次米⑯

< 記 飛田 尚弥⑮ 写真 インストラクター >

あの日から 13 回忌にあたる今年の 3 月 11 日。夜明け前に「えっ？」と思わず緊張する地震がありました。日が昇ってみると、ぼかぼかの快晴。早春やどりき水源林での恒例「ミツマタ群生鑑賞会」が行われました。33 名のお客様を 9 名のインストラクターが平成 20・21 年度成長の森にひろがるミツマタ群生地へご案内しました。今回からは特に安全管理を担当するインストラクターを配置し、皆様のより安全な散策に務めました。

当日は松田駅周辺では 20 度を超える最高気温を記録し、標高 400m 付近の水源林でもお昼過ぎには約 18 度となる温かさでした。昨年と比べ



こんにちは、オタマジャクシくん

それほどの寒さを感じられません。ご参加の皆様はリラックスして水源林歩きを堪能されました。B コース入り口にある巨木林では、丁度 100 年前の関東大震災を乗り越えた大杉を鑑賞し、混交林による水源涵養・災害軽減の重要性を確認しながら楽しむ一日となりました。

ご参加の皆様は、4 月の桜三昧イベントにもご参加の方や、今後のイベント・ニュース配信ご希望の方も多くおいでになりました。事業部イベントへのご理解・ご賛同に厚くお礼申し上げます。かながわ森林インストラクター一同、2023 年度も様々な企画をご用意し、皆様の水源林へのお越しをお待ちいたしております。

ば気候変動の影響かと思わせる 3 月週末の水源林です。1 週間ほど前に担当インストラクターが下見をしたときは 2-3 分咲きだったミツマタもフサザクラも満開、中にはすでに終わりかけているような株もありました。今年特に華やかに咲いたツノハシバミにわくわく、ヤマアカガエルの卵から孵ったオタマジャクシ数匹を確認し、滝郷の滝へ近寄っても



でかっ

活動短信

今回の掲載はR5年1月28日からR5年2月4日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

5月(皐月)(旧暦4月卯月)の 二十四節気と雑節、鎌倉の田んぼ

二十四節気 : 立夏 5/5 小満 5/21

雑節 : 八十八夜(5/2)ご存じ、立春から 88 日目で、茶摘みのころです。気候が落ち着いて、農作業が盛んに行われる頃です。田んぼでは田植えに向けて、たうない、くろつけ、しろかき作業が行われます。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので写真もあれば添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日付(できれば時間と天気も)

場所(例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参加者 人数

例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター① (○数字:期) 研:研修枠

以下、本文を概ね400字前後を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 第18回 県民参加の森林づくり(除伐)

日 令和5年1月28日(土) 9:00~13:00、晴

場 伊勢原市子易(こやす)大山地区

参 68名(大人62名、子供6名)

財 藤本様、古舘様 看 佃様

スタッフ 伊勢原市農業振興課 主事岡村様 他 3名

用具配備 神奈川県森林組合連合会1名

イ L松本⑪、山下⑪、菊池①、滝澤⑤、水野⑭、

上宮田⑪、内田⑪、岡村⑯、田島⑰、西村⑮、斎藤⑬

前夜の雪が心配でしたが、大山頂上付近は少し降ったのですが、山麓は降らずぬかるみもなく、気温は低かったものの快晴、無風で体感温度は作業にはちょうど良いぐらいで、作業途中から衣服を1枚脱ぐ人もいました。

募集人員60名に対し応募者は77名(当日参加者は68名)があり、バス4台は財団、インストラクターも入れて、ほぼ満席でした。伊勢原駅付近、現地には適切な駐車場が無いので2台毎の発停となりました。旧大山街道の這子坂(はいこざか)バス停付近の道を入り現地に向かいました。

た。地元地主さんのご厚意により果樹園敷地でオリエンテーション、体操を行い、道具(竹引鋸、剪定挟、ヘルメット、保護メガネ)を装着し、斜面道に注意しながら作業場所に向かいました。途中で猪等が利用している沼田場(ぬたば)を見る事ができ参加者は驚いていました。伊勢原市から獣害被害が多く、今回の場所を猪等が隠れ悪い様にすっきりした雑木林にして頂きたいとの事です。



作業1、2班は主に笹刈り(ノイバラがあり少し苦戦)。3班は篠竹がメインで順調、4、5班は篠竹とやや太い径3~5cmぐらいの竹であったが、熟練者が多く手際よく作業を進めていきました。

修了後はすっきりと見透しよく、猪も隠れにくい林になり、参加者は達成感を味わえたのではないのでしょうか。作業場所の奥には未だやや太い竹があり、来年もやり完璧にしたいと言っている参加者が多くいました。伊勢原市と財団にはその旨をお願いし、来年もできる事を期待したいです。

参加者の中には自転車で現地に集合した人、活動後に大山阿夫利神社に向かった元気なベテラン参加者がいました。(記、写真 松本 保⑩)

◆ 「かわさきの森づくり」第13回

日 令和5年1月29日(日) 9:30~11:30 晴れ

場 黒川丸山特別緑地保全地区

参 大人30名

イ L牧石⑭、中鉢⑰

2022年度「かわさきの森づくり」第13回 今年度最後の活動「シノ竹刈り」が実施されました。

当日「小田急多摩線はるひ野駅前」に集合し、参加者と共に緑地まで約10分移動したのち緑地入口で道具を受け取り緑地まで移動。9:30~挨拶、オリエンテーション、体操、班分け後作業実施。10:40~休憩後、11:20まで後半作



業を行い、
11:30～用具
の手入れ、ま
とめ、緑地出
口で用具回収
後流れ解散と
なった。



刈られたシ
ノ竹は緑地内

に三々五々にまとめて綺麗に置かれ処理されました。今回は午後に座学があり、午後の座学でインストラクターの体験談の話をさせていただきました。参加された皆様お疲れ様でした。

(記、写真 牧石 稔⑭)



作業前

◆ 第19回 県民参加の森づくり (除伐)

日 令和5年2月4日(土) 8:20～14:00 曇

場 相模原市中央区田名塩田(市有林)

参 69名

市 相模原市みどり環境課 佐藤様、齋藤様、原田様、井上様
まち・みどり公社 山口様、相馬様、志村様、山崎様、牛田様

財 豊丸課長、藤本様

看 佃様

イ L 西出⑫、鈴木⑧、佐藤⑤、小野⑦、山口⑪、山下⑪
野口⑰、水野⑭、波多野⑨、黒川⑭、岩田⑭、藤代⑬、
池尻⑰、大友⑯、飛田⑮、文原⑰



作業後

天気予報では曇りとありましたが、当日は晴れ間もあって緑地の中でもさほど寒さを感じることなく作業ができる天候となりました。

朝、本厚木駅から徒歩5分ほど離れたバス乗り場に集合し、受付、検温などをして、5台のバスに分かれて田名塩田に向かいました。参加者にはボーイスカウトや家族での参加もありました。現地集合場所である塩田自治会館前からはうっすら雪をかぶった丹沢の山々が見渡せて中々の風景です。オリエンテーション後、塩谷天地社の奥にある5班5区画の作業場へ移動しました。

一部清水が湧く場所もあり斜面も多く、その下には川が流れていることから、足元に注意を払いながらの竹の皆伐作業となりました。斜面に集積所を作り作業を進めることで効率よく作業を進めることができた箇所もあり、作業後に斜面の集積所が綺麗にできているのを見て参加者同士が出来栄えに満足そうに話をしているのが印象的でした。参加者の中には現場に投棄されているゴミが気になり、集合場所まで持って帰ってこられている方もいました。最終的に紛失物もなく、大きな怪我もなく無事に終了することができました。

今回の活動には、相模原市関係者や住民の方も多数参加され、地域の環境整備に取り組む熱意を感じました。

(記・文原香織⑰、西出健一⑱)



ボーイスカウトの子供達も竹の伐採に挑戦

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は6月号です。

森のめぐみ シリーズ

人も自然も いきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会の
ホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

2023年度第一回森林探訪 募集

＜鶴ヶ峰駅からふるさと尾根道緑道に行く＞

開催日：2023年6月24日(土)

参加費：1,500円

集合：相鉄線鶴ヶ峰駅改札口前 9時30分集合

解散：よこはま動物園ズーラシア入り口 14:30頃

概要：鶴ヶ峰駅から、帷子川親水緑道、白根公園、ふるさと尾根道緑道など、緑豊かな緑道や公園を巡りながら、ズーラシアをめざします。

歩行距離：約8.5km 標高差はあまりなし

持ち物：昼食、飲み物、雨具、シート、虫除け

定員：50名(申込順) 申込締切：2023年6月17日

申込先：認定NPO法人 かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

e-mail：kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp へ

森林探訪名、参加者全員の氏名・年齢・電話番号・住所を記載してください

問い合わせ：TEL 090-9675-3623 担当 松永



森の案内人☆特別企画

無料☆要申込

やどいきの森へ行こう！

第1回テーマ：五感で楽しむ森林浴

～ 森に癒やされるゆったり時間 ～

開催日：6月3日(土) 小雨決行 申込締切：5月20日(土)

場所：やどりき水源林(足柄上郡松田町寄)

森林浴で森に癒されよう

定員：30名(先着順・最小催行人数20名)

集合：小田急小田原線新松田駅北口に8時30分までにお越しください。

神奈川県森林インストラクターがご案内いたします。

[新松田駅～やどりき水源林ゲート間はバスを利用します。(バス代は各自負担:片道620円)]

帰り：やどりき水源林ゲート 14:30発 ⇒ 15:10頃 新松田駅着 解散

- 申込み先 ● NPO法人 かながわ森林インストラクターの会
住所：〒243-0018 厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604
E-mail：k-inst0981@friend.ocn.ne.jp
TEL：080-4141-7871 (担当 吉田)

参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入の上、メールでお申し込みください。
先着順にお受けします。

なお、お申し込みが20名に満たない場合は中止となります。

やどりき水源林ミニガイド

「森の案内人」

森の案内人が土日に案内をしています。今年からの新しいメンバーも加わり、案内人一同皆様の訪問をお待ちしています。

「水源林ニュース」

4月号「春時雨のやどりき水源林を訪ねました」を発行しました。こちらからご覧ください

<http://www.forest-kanagawa.jp/4field/news/news202.pdf>

やどりき水源林ニュース発行部 2023年4月 1 / 7 号



森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当：大友 博道)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

<電子配信企業等パートナー様向け担当>

黒川 敏史

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

Tel : 080-5477-2206

<電子配信会員向け担当> 笠原

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】黒川 敏史

Fax: 0467-46-8650

電話連絡先 : 080-5477-2206

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊】小林 照夫

Mail: kobayashi@ts-pocket.jp

原稿は随時受け付けています。

● やどりき水源林問合せ:

(公財)かながわトラストみどり財団

TEL : 045-412-2255

FAX : 045-412-2300

● ホームページ : <http://www.ktm.or.jp>

E-mail: midori@ktm.or.jp

(かながわ)森林インストラクターの会

ホームページ <http://www.forest-kanagawa.jp>

E-mail k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

編集後記

★ 今年はやぶの季節が早く訪れ、あっという間に新緑の季節が始まりました。温暖化のせいでしょうか？ それでも1日が過ぎるのが、とても早く感じています。

チョコちゃん(某テレビ番組)が言うには、大人になるとトキメキが無くなり1日が過ぎるのが子供の頃に比べて早く感じるそうです。

確かにトキメキことは少なくなりました・・・試しに、これからはボーッと過ごさず周りに目を向けていきたいと思います。(笠原)

★ 新人広報部員の小国です。

会報「森のなかま」は、インストラクターの会の運営を、情報面で支えるインフラの役割と思っています。新しい情報を正確にお伝えするよう頑張っていきます。(小国)

★ ここ数年とっても気になっている鳥がいます。幸せを運ぶ青い鳥 イソヒヨドリの雄です。豊かな抑揚の美しいさえずりとは裏腹に、昆虫や小動物も狙うハンターとは信じがたい！群れない、単独行動を好むフリーダムな性格も羨ましい！先日、大先輩の高橋インストラクターからお手製のバードコールをいただきました。それを使って、早く鳥と仲良くなりたいと深く思います。高橋さん、森林インストラクター活動を永きに渡って大変お疲れ様に存じます。(小池)

★ 木々の緑、次々に咲く花 自然の様子が一番ダイナミックに変わる時期ですね。昨今は、人間のこよみから見てちょっと早すぎやしませんか？とか、鳴き始めるのを忘れてやしませんか？とツッコミたくなることが多いですが(黒川)

イベント紹介

やどりきの森へ行こう 6月3日(土) 水源林で森林浴
森林探訪 6月24日(土) 鶴ヶ峰駅からふるさと尾根道緑道

詳しくは7ページをご覧ください

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。 便振替口座 00230-0-2454 **かながわ森林インストラクターの会**

宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 黒川 敏史

広報部: 松本保 笠原かずみ 長尾晴子

竹内明彦 小林照夫 小国一男 小池宗子

支援: 大原正志 吉田郁夫